

目 次

*見出し語五十音索引は目次の後に掲載

1章 歴史 [担当編集委員：池田嘉郎]

ロシアという国の成立	2	プーチン	32
タタールのくびき	4	官僚制	34
ロマノフ朝	6	勲章とメダル	36
蜂 起	8	指導者(皇帝)崇拜	38
19世紀のロシア帝国	10	農 民	40
農奴解放	12	コサック	42
ロシア革命	14	決闘と舞踏会	44
戦 争	16	社会主義・共産主義	46
レーニン	18	流 刑	48
スターリン	20	収容所	50
大テロル	22	軍隊・準軍隊・警察・保安機関	52
冷 戦	24	◆コラム	
雪どけ	26	ピョートル大帝	54
停 滞	28	エカチェリーナ2世	55
ベレストロイカからソ連の解体へ	30	ニコライ2世	56

2章 大地と人 [担当編集委員：望月哲男]

気候・気象	58	地域・民族・文化①	
水 域	60	ヨーロッパ・ロシア中部	78
森	62	地域・民族・文化②	
植 物	64	北ロシア	80
動 物	66	地域・民族・文化③	
農 業	68	シベリア・極東	82
村落—農民文化の揺籠	70	地域・民族・文化④	
狩猟・漁労・牧畜	72	沿ヴォルガ	84
ロシア的狩猟の今昔	74	地域・民族・文化⑤	
住 民	76	コーカサス・黒海沿岸	86

極地の探検と開発	88	記念碑	104
モスクワ	90	祝典とパレード	106
クレムリン・赤の広場・レーニン廟	92	聖地・世界遺産	108
サンクト・ペテルブルグ	94	環境問題	110
道	96	チェルノブイリ	112
シベリア鉄道	98	ロシアの空間的自己イメージ	114
都市と交通の空間	100	白樺と熊	116
公共交通	102	◆コラム	
		サハリン島	118

3章 信仰 [担当編集委員：井上まどか]

スラヴの神々	120	聖遺物崇敬	138
ロシア正教会	122	ラスプーチン	140
正教会とその習慣	124	救世主キリスト大聖堂	142
ロシア正教会の聖歌	126	現代のロシア正教会と信者	144
教会建築	128	古儀式派とセクト	146
修道院	130	世界主要宗教諸派	148
歴史的な聖堂	132	◆コラム	
巡礼	134	イースターエッグ(パスハの卵)	150
聖人・聖愚者	136		

4章 民衆文化 [担当編集委員：熊野谷葉子]

「民衆」とフォークロア	152	木工芸の伝統	172
農村の暮らし	154	マトリョーシカとその他民芸品	174
伝統的な遊びと踊り	156	ブイリーナと歌物語	176
マースレニツァと春迎え	158	昔話	178
トロイカと馬	160	ことわざ	180
神々と悪魔	162	アネクドート(小咄)	182
呪術と占い	164	チャストゥーシカ(小唄)	184
魔女	166	◆コラム	
女性の装い	168	バラライカ	186
男性の装い	170		

5章 生活 [担当編集委員：熊野谷葉子]

憲法とロシア人の法意識	188	結婚儀礼	214
世論調査にみるロシア人の価値観	190	家庭生活・子育て	216
新聞・雑誌とテレビ	192	葬儀と墓地	218
年金制度	194	度量衡と世界観	220
エチケット	196	カレンダー	222
友達付き合い	198	切手と貨幣	224
住居	200	冬の暮らし	226
蒸風呂(バーニャ)と暖炉(ペーチ)	202	毛皮	228
別荘(ダーチャ)と菜園の恵み	204	現代ファッション	230
医療制度	206	◆コラム	
民間療法	208	行列と日用品の欠乏	232
ジェンダーとセクシャリティ	210	読書と「書き取り検定」	233
恋愛・結婚・離婚	212	ニヒリストとスチリャーギー	
		ロシアのカウンターカルチャー	234

6章 食 [担当編集委員：熊野谷葉子]

食文化—飽食と粗食の大きな振れ幅	236	ウォトカとビール	252
家庭料理と外食	238	お茶とクワスとジュース	254
伝統的食材	240	サモワール	256
パンとカーシャ(粥)	242	キャビアと前菜(ザクースカ)	258
ボルシチとピロシキ	244	スイーツいろいろ	260
肉と魚の料理あれこれ	246	斎戒期の食事	262
スメタナとクリーム	248	◆コラム	
ベリーとキノコ	250	ロシアの寿司ブームと村上春樹の人気	264

7章 娯楽とスポーツ [担当編集委員：望月哲男・熊野谷葉子]

笑いと芸能	266	観光・保養	272
テレビドラマと人気番組	268	博覧会	274
サーカス	270	オリンピックとパラリンピック	276

伝統的遊戯と運動	278	サッカーとアイスホッケー	286
チェス	280	サンボ	288
シンクロナイズドスイミング(アー ティスティックスイミング)	282	◆コラム 遊園地・子供の遊び場	290
新体操とフィギュアスケート	284		

8章 言葉 [担当編集委員：沼野充義]

ロシア語の歴史	292	ロシア連邦内のさまざまな 民族語	312
古教会スラヴ語	294	世界の中のロシア語	314
スラヴ語としてのロシア語	296	日本語に入ったロシア語	316
ロシア語の特徴	298	◆コラム ロシア人と外国語	318
ロシア語の文字	300	ロシア人と外国語	318
ロシア人の名前	302	世相や国際情勢を反映した 現代語	319
ロシアの地名	304	「翼の生えた言葉」—日常的に 使われる名句	320
挨拶	306		
マート—卑猥な言葉・表現	308		
方言	310		

9章 文学 [担当編集委員：乗松亨平]

読書文化・出版文化	322	亡命文学	350
詩の伝統	324	多民族的なロシア文学	352
中世文学	326	詩の20世紀	354
イーゴリ軍記	328	歴史・ノンフィクション文学	356
18世紀文学	330	SF・幻想文学	358
文学と国民性・国民文学	332	現代文学	360
自伝文学	334	児童文学	362
ロマン主義	336	言葉の力と文学の権威	364
リアリズム文学	338	余計者	366
象徴主義	340	検閲・イソップの言葉	368
未来派	342	戦争と文学	370
ユーモア・風刺文学	344	女性と文学	372
大衆文学	346	都市と文学	374
ソ連文学	348	農村と文学	376

文学と教育	378	文学賞	394
吟遊詩人	380	旅行記	396
プーシキン	382	◆コラム ロシア文学とエロス	398
ゴーゴリ	384	ブルガーコフ	399
ドストエフスキー	386	プラトーフ	400
トルストイ	388	パステルナーク	401
ナボコフ	390	ロシアにおける外国文学の翻訳	402
ソルジェニーツィン	392		

10章 舞踏・演劇 [担当編集委員：楯岡求美]

近代ロシアバレエ	404	劇作家オストロフスキー	432
チャイコフスキーの三大バレエ	406	スタニスラフスキー	434
バレエ・リュス	408	モスクワ芸術座とその系譜	436
ロシア革命後のソ連・ 現代ロシアバレエ	410	メイエルホリド	438
モイセーエフ・バレエ団	412	実験劇場の系譜	440
名バレリーナ・バレエダンサー	414	タガンカ劇場とリュビーモフ	442
バレエ教育と劇場システム	416	ソ連時代の劇作家たち	444
オペラ・バレエ劇場	418	児童演劇	446
パフォーマンス・アート	420	俳優列伝	448
民衆演劇	422	現代ロシア演劇のさまざまな様相	450
近代演劇の勃興	424	◆コラム クシェシンスカヤとニコライ 皇太子の恋	452
ドラマ劇場	426	ペレストロイカと文化	453
近代戯曲の名作① ロマン主義か らリアリズムへ	428	キャバレー	454
近代戯曲の名作② チェーホフ と20世紀初頭の演劇	430		

11章 映画 [担当編集委員：楯岡求美]

ロシア映画の黎明— サイレント映画	456	文芸映画—	462
エイゼンシュテインとヴェルトフ	458	「雪どけ」期の映画— ソ連のニューウェーブ	464
スターリン時代の映画—	460	ミハルコフとタルコフスキー	466

パラジャーノフとレンフィルム の鬼才たち	468	娯楽映画	472
多民族的ソ連・ロシアの映画の 世界	470	アニメ	474
		ノルシュテインとチェブラーシカ	476
		映画の名台詞	478

12章 美術・建築

[担当編集委員：鴻野わか菜]

イコン・宗教美術	482	スターリン時代の建築と 都市計画	508
美術アカデミーと近代絵画	484	ソ連期のアンダーグラウンド 芸術	510
移動派とリアリズム絵画	486	現代美術	512
モダルンとヴルーベリ	488	モスクワの地下鉄駅	514
森と海	490	現代建築の諸相	516
越境する美術—カンディンスキー とシャガール	492	現代美術のシステム	518
エルミタージュ美術館	494	絵本	520
トレチヤコフ美術館	496	アーティスト・ブック	522
芸術家たちの同盟組織	498	写真	524
ロシア・アヴァンギャルド芸術	500	彫刻	526
アヴァンギャルドと建築	502	ウサージバ・庭園	528
ポスター	504	◆コラム	
社会主義リアリズム芸術	506	女性芸術家たち	530

13章 音楽

[担当編集委員：鴻野わか菜・沼野充義]

民族音楽・民謡	532	名指揮者・名演奏家たち	550
近代音楽の勃興とグリンカ	534	ロシア・ピアノリズム	552
ロシア五人組	536	ロシア・オペラの世界	554
チャイコフスキー	538	ジャズとロック	556
スクリャーピンとラフマニノフ	540	テルミン	558
ストラヴィンスキーと プロコフィエフ	542	ロシア周辺出身の多民族的な 現代作曲家たち	560
ショスタコーヴィチ	544	◆コラム	
音楽教育	546	国歌	562
ソ連・ロシアの大衆歌謡	548		

14章 思想

[担当編集委員：坂庭淳史]

母なるロシア、母なる大地	564	建神主義	592
終末論	566	名の哲学・賛名派	594
ナショナリズム、ショーヴィ ニズム	568	フォルマリズム・記号論	596
フリーメイソン	570	亡命ロシア哲学	598
デカプリストと自由思想	572	ユーラシア主義	600
西欧派	574	異論派(ディシデント)	602
スラヴ派	576	現代思想	604
ナロードニキ	578	ソロヴィヨフ	606
アナーキズム	580	ベルジャーエフ	608
ソボルノスチ(霊的共同性)	582	バフチン	610
コスミズム	584	マルクス＝レーニン主義	612
神智学・神秘思想	586	◆コラム	
女性解放思想	588	モスクワ第三ローマ説	614
ユダヤ人問題	590	インテリゲンツィア	615
		弁証法的唯物論	616

15章 学術・技術

[担当編集委員：金山浩司]

物理学	618	民族学	646
生物学	620	言語学	648
数学	622	教育・学校制度	650
ロケット工学・宇宙開発	624	博物館	652
核開発	626	図書館	654
科学アカデミー	628	メイドインUSSR	656
科学都市	630	武器・兵器	658
ソ連崩壊以降(90年代)の科学技 術体制	632	◆コラム	
理数系教育	634	メンデレーエフ	660
インターネット文化	636	コワレフスカヤ	661
権力と科学者たち	638	パヴロフ	662
科学主義・科学技術信奉	640	ガガーリンとテレシコワ	663
心理学	642	テトリス	664
歴史学	644	コンピュータ・サイエンス	665

16章 ロシアと世界 [担当編集委員：池田嘉郎]

ロシアの謎と魅力	668	ルーシの歴史とウクライナ	680
ロシアとヨーロッパ	670	ロシアとスラヴ諸国	682
ロシアと東洋(学)	672	亡命	684
ロシアとユダヤ	674	ロシア人と時間	686
ロシアと旧帝国周辺民族①		◆コラム	
中央アジア	676	世界で活躍するロシア人	688
ロシアと旧帝国周辺民族②			
コーカサス	678		

17章 ロシアと日本 [担当編集委員：池田嘉郎]

ロシアの日本学	690	日露領土の境界	708
日露交流史	692	ロシアの日本趣味	
漂流民	694	(ジャポニズム)	710
ニコライと日本における正教会	696	日本におけるロシア文学の受容	712
大津事件	698	現代日本文化のロシアにおける	
日露戦争	700	受容	714
シベリア出兵	702	演劇における日露交流	716
白系ロシア人	704	◆コラム	
シベリア抑留	706	日本におけるロシア民謡	718

付 録

[付録1] 国旗と国章	720
[付録2] 年表	725

見出し語五十音索引	xvii
引用・参照文献	744
事項索引	792
人名索引	824